

担当課	観光商工部 観光物産課
担当者	参事補 宮本 大輔 主事 稲崎 泰樹
電話	0957-38-3111
FAX	0957-38-3205

雲仙温泉 八万地獄の今後について

昨年8月13日に発生した大雨被害から間もなく1年を迎えます。当時、雲仙温泉の八万地獄は土砂崩れにより甚大な被害を受けました。発災直後から「越えてより先へ雲仙」を合言葉に、国・県・市・地元が一体となって、100に戻す復旧ではなく、この危機を、前に進む大きなチャンスと捉え直し、魅力を今まで以上の200・300にする、創造的復興を目指して、取り組んで参りました。

この度、発災から1年の節目を迎えるにあたり、環境省・県・市・地元で構成する「第5回 八万地獄グランドデザインワーキング」が開催され、下記のとおり確認されましたのでお知らせします。

記

○コンセプトの方向性：

雲仙地獄を、「地球の躍動・鼓動を身近に感じられる世界でも唯一無二の価値ある場所」と捉え、伝えたい感動を提供できる場所として、「火山と共に生きてきた雲仙温泉ならではの、地獄の魅力や地獄と共生してきた人々との関りを伝えられるエコツアーや、地獄を眺めながら、くつろぎや憩いを提供する交流テラスを通じ、世界から訪れたい、地獄の新たな価値と魅力を創造し、お客様と地球、そして賑わう温泉街の未来を紡ぐ。」

○具体的方策

- ・崩壊斜面の対策については、グランドアンカー工による崩壊斜面の安定化を図り、かつ、ジオファイバー工法による修景緑化を採用する方向で、年内着工・早期完成を目指す。
- ・火山と共に生きてきた雲仙温泉として、地獄の魅力や地獄と共生してきた人々との関りを伝えられるエコツアーの充実を図ることを、今後の魅力づくりの中心に据え、『地球の躍動・鼓動の体感。伝えたい感動の提供』を目指す。
- ・くつろぎと交流のテラスでは、地獄と人の暮らしの結節点として、地獄の景観と一体となった様々なシーンでくつろげる、おしゃれで上質な空間を整備し、温泉街との連携により『温泉街の賑わいの創出』を目指す。
- ・土砂に埋もれた歩道は、今後の雲仙地獄全体の歩道のモデルとなるよう、より地獄の景観になじみ、自然と一体となれるようなデザインを採用することで、今まで以上に、地球の躍動・鼓動を楽しんでいただけることを目指す。
- ・今年1月に、新たに設置された雲仙観光局と地域内外のコラボレーションにより、上記取り組みを、より魅力的なものとし、『世界から訪れたい地獄』を目指す。
- ・上記方針の下、今後、更に、環境省・県・市・地元が一体となって、詳細な検討・具体化を進めていくこととする。